

学習指導案

指導者 畑中 元毅

- 1 日時・場所 平成25年9月18日(水) 1時限目 3年D組 教室
- 2 学 級 3年D組 男子30名(選択科目)
- 3 教材教科書名 電子機械応用(A4判) 実教出版
- 4 単 元 第2章 産業用ロボット ロボットの基礎
- 5 単 元 目 標 ロボットの歴史、種類、メカニズム、産業用ロボット、高機能ロボット、ロボットの将来の姿などについて理解させる。また、産業用ロボットの運動形態、産業用ロボットの主な構成要素、製造業用ロボット、非製造業用ロボットなど産業用ロボットの概要について理解させる。
- 6 単元の指導計画
 - (1) ロボットの変遷 3時間(本時: 3/3時間目)
 - (2) 産業用ロボットの分類 1時間
 - (3) ロボットのメカニズム 2時間
 - (4) ロボットの基本機構 3時間
 - (5) 産業用ロボット 2時間
- 7 本時の指導
 - (1) 目標 リコールについて言語活動を通して学習し、「つくったものがどのような影響を及ぼすのか」ということの一部について考えさせ、技術者としての倫理観を養う。本単元は産業用ロボットについての内容であるが、生徒が比較的イメージしやすい自動車のリコールを取り扱う。
 - (2) 資料 プリント
 - (3) 本時の指導計画 別紙

(3) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 5分	<p>前回までの復習</p> <p>本時の目標の確認</p>	<p>ノート・教科書等を確認し、発表する。</p> <p>目標をプリントにラインを引いて確認する。</p>	<p>前回までの内容について発問する。</p> <p>本時の目標について説明し、要所にラインを引くことを指示。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 発表による</p> <p>プリントの記入状況による</p>
展開 40分	<p>(1班6人×5班での学習) リコールという言葉のイメージについて</p> <p>リコールの意味の確認と、リコール・改善対策・サービスキャンペーンの違いについて学習</p> <p>リコール等に該当しそうな事例をもとに班内で討論</p> <p>班ごとの発表</p> <p>今回のどの事例がリコールや改善対策に該当するのかわを確認し、現在の自身の視点との違いを確認</p>	<p>リコールという言葉からどのようなことをイメージするかについて班ごとに発表。</p> <p>他の班の発表を聞きながらプリントに書写する。</p> <p>イメージと実際の意味の違いを確認しながらプリントに書写する。 質問があれば質問する。</p> <p>事例をリコール等に該当しそうな順に並べ替え、リコール等の線引きを予想し、班での意見をまとめる。</p> <p>班での意見を発表する。</p> <p>今回のどの事例がリコールや改善対策に該当するのかわを確認してプリントに記入し、現在の自身の視点との違いを確認する。</p>	<p>リコールという言葉からどのようなことをイメージするかについて発問。</p> <p>発表内容を板書する。</p> <p>プリントの空欄に記入できるように、各項目ごとに関連知識を説明し、板書する。質問の有無を確認する。</p> <p>事例をリコール等に該当しそうな順に並べ替え、リコール等の線引きを予想するよう指示。</p> <p>班での意見の発表を指示。</p> <p>今回のどの事例がリコールや改善対策に該当するのかわを説明し、現在の自身の視点との違いに気付かせる。質問の有無を確認する。</p>	<p>「関心・意欲・態度」</p> <p>「知識・理解」 プリントの記入状況による</p> <p>「関心・意欲・態度」 発表による</p> <p>「知識・理解」 プリントの記入状況による</p>
終結 5分	<p>本時の目標とリコールについての知識の確認</p> <p>感想の記入</p> <p>次回の予告</p>	<p>プリントの見直しを行い、本時の目標とリコールについての知識を確認する。</p> <p>プリントに感想を記入する。</p> <p>次回の予告を確認する。</p>	<p>プリント上でラインを引いた場所や、生徒が記入した部分について確認する。</p> <p>プリントに感想を記入するよう指示。</p> <p>次回の予告を行う。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 プリントの記入状況による</p>